

# 「かんきょう」パンフレット

第83号 (社内環境情報紙)

2013年2月13日

青柳工業株式会社 環境会議 事務局

## 金属類の分別について

金属屑は有価物(有料で引き取り可能なもの)ですが、中には引き取り不可能なものがあります。右の写真をご覧ください。プラスチックなどと一体成型されているもので、プラスチックの部分が多い物はNGです。スプレー缶など、揮発性の薬品が入っていたようなものもNGです。モールド剤のように凝固剤で固まるような薬品も、中に少しでも残っていれば、すべて不燃物になります。逆に、トランスのように、銅線が大量に巻きついているものは、有価物になります。分別を徹底していただければ、有料で処分する廃棄物が減ります。不明なものは環境事務局へご相談ください。



有価物として処分出来ない物



有価物のトランス

## 環境教室に参加しました

1月27日、水戸市環境保全会議主催の環境教室に参加しました。今回の環境教室では、水戸市の北部、木葉下(あぼつけ)、全隈(またぐま)山根地区に出没する、イノシシなどが及ぼす環境影響について調査しその他の有害鳥獣(イノシシ、ハクビシン、アライグマ、テンなど)の生態等について学びました。こうした鳥獣が増えるのは、「冬になってエサがなくなるからだ」と思っている人が多いようですが、実は人が山に近づかなくなったため、動物の警戒心が薄れるためだと言われています。この地域も、豊かな森で、林業などを営んで暮らしている人がたくさんいましたが、今は、管理されることもなく荒れているようです。水戸以外の地域では、町おこしのために、イノシシなどを積極的に捕獲し食用にしているところもあります。今のイノシシは、イノブタとの交配種で、いっぺんに数頭の子どもができるため、予想以上のスピードで増え続けています。動物愛護か自然保護か難しい選択を迫られています。



環境教室の様子

## フォローアップ自己評価を実施します

KESでは、内部監査にあたる自己評価を実施するよう要求しています。当社では、7月に定期自己評価を実施して、2月にフォローアップをする計画を立てています。定期自己評価では、想定表(災害が起きた場合、どのような問題が発生するか予想を立てること)の記載を、より具体的に書くよう指示されました。フォローアップでは、定期自己評価の指摘事項の他、KES審査時に受けた、推奨事項等の改善状況についても評価しています。今年の目標項目も既に達成した事項や、達成が微妙な状況のものなどあり、自己評価で様々な観点から再点検したいと考えています。



### 環境コラム 「中国からの微小飛来物(PM2.5)」

最近のニュースで、中国の大気汚染が深刻な状況で、人体に影響があるレベルに達していると伝えていました。日本にも、気流に乗って各所に飛散している実態が、ある週刊誌に掲載され、その真偽に騒然となっています。人体に有害な物質PM2.5とは、自動車の排気ガスや工場のばい煙などに含まれる、人間の肺にまで到達する非常に小さな粒子で、通常のマスクなどでは十分に防ぎきれないと言われていました。日本では、排ガスに対する技術が進み、自動車は一定の水準に達しない製品は、販売出来ないなどの対策がとられていますが、中国ではそうした対応が不十分なようです。2月に入ってから、旧正月のお祝いに使う、花火や爆竹の中に含まれる、硫酸化物なども、大気に乗って日本に到達しています。環境省では、ホームページなどで各所の飛散実態を公表していましたが、データ中に誤りが発見されるなど、問題を複雑にしてみました。現状では、すぐに健康に影響はないと言っていますが、そうした知識だけは持っていたいものです。